



チドリノキ [千鳥の木]

5本の樹

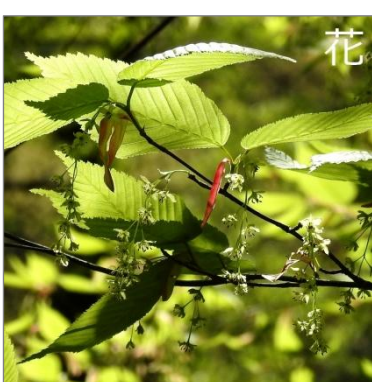
落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ムクロジ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い、雌雄異株

葉に切れ込みがなく、一見するとカエデには見えない。魅力は黄葉が美しいこと。5月頃、花序に淡黄色の花をつける。本州から九州の沢沿いに自生する日本固有種。群生することもある。樹名は、翼果を千鳥の飛ぶ姿に見立てたとされるが、この形態はこのカエデに限らない。



Memo

葉は、カバノキ科のクマシデに似ている。葉が対生する点、鋸歯の切れ込みが深い点で見分ける。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実									■				
黄 葉											■		
施 肥	(痩せ地でなければ不要)												
剪 定	(春先の活動が早いので2月上旬までがよい)												

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○				○		

ポイント

一番の魅力は秋の黄葉。適度に湿り気のある場所、日差しの強い場所より、半日陰程度の場所の方が美しく黄葉する。また、平地など街中では美しく紅葉し難い。やや生長が速いので適宜剪定する。


剪定

生長はやや早い。枝の先端を刈り込むのではなく、枝抜き剪定にて整姿する。大きくしたくない場合は早めに芯止めして樹高を抑えるとよい。切り口を消毒し傷口癒合剤を塗布する。

病虫害

ほかのカエデ同様に樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）とアブラムシに注意する。テッポウムシは幹下に木屑を見つけ次第駆除する。

呼べる鳥  ヤマドリ

呼べる蝶  ミスジチョウ